

◆科目名Course Title			
農畜産関係法（日本の農業・畜産をめぐり法律問題） [LAW OF AGRICULTURE AND			
◆授業担当教員Instructor			
野原 香織 [NOHARA Kaori]			
◆開講学期Semester	前期	◆対象学年Year	3年～
◆履修可能人数Capacity	遠隔 0人	◆単位数Number of Credits	2
	オンライン 30人	◆授業形態Type of Class	講義
	オンデマンド 0人		
	対面 0人		

◆キーワードKey Words	
農業競争力、食品規格、食品表示、食品衛生、知的財産、育成者権、遺伝資源、家畜伝染病、環境保全、労働安全	
◆授業の目的Course Objectives	
<p>農産物の生産で最も重要なことは、食品としての安全性を確保することである。そのためには生産者倫理や消費者意識といった個人の努力だけでなく、生産から消費にいたるまでの明確なルールづくりが不可欠となる。農畜産業に関する種々の法律は、国家による強制力をもつルールとして「食の安心・安全」を支えている。近年、「食」をめぐる国際情勢の変化や科学技術の進歩、そして社会問題となった「食品スキャンダル」や原発事故などの重大事件をうけて、農畜産業および食品安全に関する法制度は転換点を迎えていく。この授業では、わが国の農畜産業の現状と課題をふまえたうえで、関連する法制度を具体的な事例を交えて習得し、さらに将来的課題を克服するために必要な法的思考力を養う。</p>	
◆授業概要Course Description	
<p>1回の授業は、①前回の小テストまたは課題の振り返り、②今回のテーマの講義、③授業後の小テストまたは課題についての指示で構成される。また、授業時間内に各テーマに関連したアンケートをおこない、出席をとると同時に、講義形式ではあるが履修者の皆さんの反応も取り入れながら授業を進めていく。各回の授業後には、知識を定着させたり、自身の見解をより深めてもらうために、小テストまたは課題を出す。授業資料の配布や、小テスト・課題の出題、授業内アンケート（出席）など、授業運営にmoodleを利用する。この授業を通じて、単に法制度を知るだけでなく、日本の農業・畜産をめぐり法律問題について、自らの見解を構築できるようになることを目指す。</p>	
◆到達目標Course Goals	
<p>①農畜産業および食品安全に関する法制度の概要を説明することができる。</p> <p>②現在の法制度の問題点や将来的課題を見出すことができる。</p> <p>③各法制度の背景・意義・概要・問題点を文献等から調査し、自らの考えを法的観点から展開することができる。</p>	

<b>◆授業計画Course Schedule</b>
1. ガイダンス 2. 日本の農畜産業を取り巻く現状と政策 3. 農産物食品の規格・表示と安全性 4. 食品衛生法の改正・HACCP 5. 放射能と農産物 6. 遺伝子組換え作物・食品の安全性 7. 農業知的財産（1）—品種登録と育成者権 8. 農業知的財産（2）—地理的表示（GI）・地域団体商標 9. 農業知的財産（3）—家畜遺伝資源の保護 10. 家畜伝染病の予防 11. 家畜のアニマル・ウェルフェア 12. 農地の利用 13. 環境保全型農業 14. 農業従事者の労働法 15. 全体の総括／期末レポートについて
<b>◆成績評価Grading System</b>
授業後にmoodleで出題する小テスト・課題（50%）、期末レポート（50%）によって評価する。 授業後の小テストや課題では、授業内容を正確に理解しているか、積極的に取り組んでいるかなどをはかる（到達目標①）。期末レポートでは、授業でとりあげた農畜産業に関する法制度のなかから各自でテーマを設定し、文献調査等によって理解を深めたうえで、自らの考えを法的観点から論じてもらう（到達目標②③）。
<b>◆テキストTextbooks</b>
井上龍子著『食料農業の法と制度』（金融財政事情研究会、2018年）
<b>◆参考書Reading List</b>
授業時に適宜指示する。
<b>◆準備学習Homework</b>
予習：授業の最後に次回の内容と参考資料を提示するので、各自で目を通しておくこと。 復習：授業後に実施する小テストや課題に取り組み、講義内容を復習して知識を定着させること。
<b>◆オフィスアワーOffice Hour</b>
時間の都合がつけば、随時受け付けます。校務・出張等で不在のこともあるので、まずは事前にメールで要件等をご連絡ください。
<b>◆連絡先E-mail</b>
knohara@obihiro.ac.jp
<b>◆質問・相談への対応方法Contact Information</b>
授業内容についての質問等は、メールやmoodleのメッセージ機能にて受け付けます。その際は、氏名、所属大学、受講している科目名を忘れずに記入してください。また、対面での相談を希望される場合は、まずメールでアポイントメントをとってください。

**◆履修上の注意Notes**

第1回の授業で、受講する際の諸注意や、moodleの登録などについて説明しますので、よく聞いておいてください。また、授業計画は、授業の進行具合や時事問題に応じて変更する可能性があります。なお、授業時間内にmoodleでアンケートをとるので、その回答をもって出席とします。授業内アンケートに5回以上無回答の場合、原則として成績評価の対象としません。特別の事情がある場合は、個別に相談してください。

**◆備考Other Information**

農畜産業や食品安全に関するニュースに日頃から目を通すようにしてください。  
そして何よりも、授業に関心をもって積極的に参加することをのぞみます。